



湾岸・アラビア半島地域ニュース

サウジアラビア：リー・クアンユー・シンガポール内閣顧問の講演

(3月6日付サウジガゼット紙)

4日、リヤド経済フォーラムにキーノートスピーカーとしてリー・クアンユー・シンガポール内閣顧問が参加し、サウジアラビアの今後について発言した。

1. リー・クアンユー・シンガポール内閣顧問は、サウジが経済成長を達成するための鍵について、莫大な原油収入を活用するための投資機関、投資委員会のようなものを設置すべきであると述べた。シンガポールを沼地から世界の富裕国の一つに変えた人物である同顧問は、同国の投資機関は過去数年間に「莫大な利益」を得ていると述べ、サウジも真似るべきだと述べた。
2. 1959年、シンガポールに自治政府が設立され、同顧問が首相となった。人口52%が女性である同国では、教育に重点が置かれ、女性は就学するように奨励されてきた。今日、効率性と献身で知られる同国の42%が女性である。また、生活のあらゆる場面で主要な地位には女性がついている。同顧問は、サウジアラビアの更なる発展における科学技術の重要性を指摘し、もし高度な科学技術に投資しないなら、石油の恩恵を受けていないのと同じであると述べた。また中国やベトナムの例に触れつつ、適切な教育の提供、人材育成なしに発展した国はないと述べた。
3. 同顧問は、職務への献身と誠実さの観点から、国の労働力にやる気を与えるためにも、政府は公的部門の労働者にインセンティブ及び高水準の給与体系を与えるべきだと述べた。また良く計画された年金システムは、労働者に自信を与えるのみならず、職場において誠実となる動機を長期的に与えるものであると述べた。

<参考> シンガポール-サウジ関係

シンガポールとサウジの経済関係は、2006年4月、サウジのスルターン皇太子一行がシンガポールを訪問(10日~12日)して4つの協定 貿易協力に関する了解覚書、投資促進・保護協定、両国の外務省間の政治協議に関する了解覚書、合同ビジネス評議会設置に関する了解覚書を結んで以降、2006年11月にシンガポールのシエンロン首相はサウジを訪問し、同国のアブドゥラー国王、スルターン皇太子、ナーフ内相、リヤド州のサルマーン州知事と各々会談するなど緊密化している。得に経済面では、同国がサウジ総合投資院(SAGIA)による経済都市開発に対して積極的にアドバイスを行っているなど多岐にわたっている。また、リー・クアンユー顧問が、サウジにおいてセンシティブな話題の一つである女性の社会進出について触れたことは、当地でも注目を集めた。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799